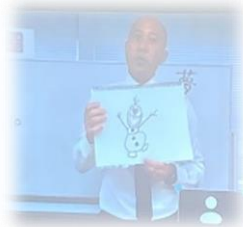




こころのプロジェクト夢教室5年 10/28

夢を持つことの大切さについて、夢先生(トップアスリート)に話を聞く
「こころのプロジェクト 夢教室」がありました。

トリノオリンピックにスノーボード競技で出場した鶴岡剣太郎氏と、東京の日本サッカー協会から、オンラインで授業をしていただきました。



つるちゃん(鶴岡先生)はオリンピックに出るまでいろいろ合ったということがわかって、オリンピックに出場したいならたくさんのことを乗り越えていかなくては行けないんだと思いました。

失敗してもあきらめず、何事にも挑戦しようと思いました。鶴岡先生が「今すぐやる」「あきらめないで続ける」「周りのサインに気を配る」という言葉を思い出しながらがんばりたい。

ぼくもつるちゃんのようにあきらめないで続けてがんばっていきたい。あきらめそうになったら、夢教室の授業を思い出して、自分に必要な努力の仕方を見つけない。



夢をあきらめかけていたけれど、つるちゃんのおかげであきらめないでその夢におかかってがんばろうと思いました。ありがとうございました。

ぼくは負けるのがこわいと思っていました。「負けたらそれだけ自信がつく」と教えてくださり、気持ちが楽になりました。今日の授業は絶対忘れません。つらいことがあったら思い出します。



好きなことを将来の夢にできたことがすごいと思いました。私も医師になるため、たくさん勉強していききたいと思います。

鶴岡剣太郎先生・・・千葉県出身。3才でスキーを始め、21才でスノーボードに転向し、1999年に全日本大会で優勝、ワールドカップなどを転戦し、全日本選手権で3回優勝、トリノオリンピックに出場。現在はスノーボード競技の普及、発展に尽くしておられます。